資 料 1



多世代交流・健康増進拠点施設基本設計について

I 前回専門会議の意見整理(主な発言内容)・・・・P1

Ⅱ 配置ゾーニングの検討・・・・・・・・・・・P3

令和3年5月22日 山口市総合政策部スマートシティ推進室

I. 前回専門会議の意見整理(主な発言内容)

整備内容に関する御意見

- ・本施設でイベント等を開催時に周辺住民の方に迷惑がかからないよう、防音・遮音の対策が必要である。
- ・ 大屋根広場、文化体験スペース、多目的スペース等を一体的に利用できる設えとするなど、1,000人程度収容できる空間を確保すべきである。
- ・ 温泉の規模は、現在の寿泉荘程度を維持すべきである。
- ペットが入れる温泉の設置を検討してはどうか。
- 飲食機能は、施設利用者に対する飲み物やスイーツの提供などの簡易なものにすべきである。
- ・ 温泉の熱を利用した暖房を検討するなど、脱炭素社会に向けた取組の検討も必要である。
- ・湯田温泉の誘客につながるよう、湯田温泉の象徴となるようなデザインやシンボルを取り入れることを検 討してはどうか。

他施設との連携に関する御意見

- ・ 産業交流拠点施設を訪れた人が湯田温泉に足を運びたくなるような、湯田温泉の磨き上げが必要である。
- ・隣接する地域交流センターとの連携について、動線のみ確保すればよいのか、一体的な空間として連携する必要があるのかなど、条件整理すべきである。

資料作成等に関する御意見

- ・ ○○△などの評価をつけるなど、評価項目の整理、優先順位付けが必要である。
- ・ 模型を作成し、実際に動かしながら議論を行う必要がある。

【参考】本市の現状(健康都市宣言について)

本市は、魅力ある地域資源を生かしながら、市民総参加の健康づくりを進め、元気でいきいきと暮らせる「健康都市」の実現を目指し、平成27年10月3日に、「健康都市宣言」を行っています。

民間企業、大学、県と連携し、 高齢者の健康づくり等をテー マとした実証研究を実施 産業交流拠点施設のメディフィットラボ において、スポーツクラブを中心とした 健康づくり、生活習慣病などの治療の ための運動指導の対応、県とも連携し たヘルスケア関連商品やサービスの開 発等の取組を展開 多世代交流・健康増進拠点施設において、温泉資源を活用した健康増進の取組を検討

山口都市核

山口、小郡の2つの都市核に加え、市内21地域において、森林セラピー、グリーン・ツーリズム、いきいき 百歳体操など、心身の健康増進に寄与する取組が展開されている。

Ⅱ. 配置ゾーニングの検討

第1回専門会議でお示しした7案





第1回専門会議での議論を踏まえ、C案、E案、F案をベースに、配置ゾーニング案を3案作成

→ 資料2と3で説明